

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 30 年度 第 4 回 理事会議事録

日時：平成 30 年 7 月 18 日（水）19 時 00 分～21 時 05 分

場所：都臨技事務所

議長：原田

書記：竹澤

出席：原田、杉岡、小山、中村、松村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎、工藤、櫻井、鈴木、相馬、中尾、星野、三木、宮下、竹澤、立花監事、安部監事、遠藤監事、役員選出委員（宮後）
計 23 名

1. 議事録確認

平成 30 年度第 3 回理事会議事録

平成 30 年定時総会議事録

- ・事前に承認されており、東京都に提出済み

平成 30 年定時総会「会員意見記入用紙」および「回答」

- ・「2017 年より東京山手メディカルセンターの会場使用料が高騰したため学術研修会での使用が禁止されたにも関わらず理事会が主催する行事においては依然として使用されているのは如何なものか」という意見が出された。

それに対し中村副会長からの答申を原田会長が説明し、都臨技 HP に掲載することとなった。

平成 30 年度第 4 回執行理事会議事録

2. 理事行動報告

6 月 15 日	(金)	選挙管理委員会	鈴木、宮崎、宮下、
6 月 25 日	(月)	学術部会	原田、山方、中尾、星、小山、杉岡
6 月 22 日	(金)	東支部幹事会	原田、三橋、竹澤
6 月 28 日	(木)	編集委員会	山方、星野、中尾
6 月 26 日	(火)	フォーラム委員会	鈴木、三橋、中村
6 月 29 日	(金)	データ標準化・精度管理 調査委員会	相馬
7 月 2 日	(月)	表彰選考委員会	原田、中村、竹澤
7 月 3 日	(火)	南支部幹事会	宮下、三木、星野、工藤
7 月 4 日	(水)	執行理事会	原田、杉岡、小山、中村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎
7 月 5 日	(木)	役員候補者選出委員会	原田、米山、三木
7 月 6 日	(金)	会計部会	浄土、宮下、工藤
7 月 9 日	(月)	S T I 予防委員会	浄土、三木

3. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・各研究班研修会は予定通り開催された。
- ・各研究班査読委員について、一部未選出があるが、ほぼ出揃った。
- ・検査と健康展について、一部未提出があるが企画書が提出された。
- ・検査と健康展の WG を立ち上げるため、各研究班から 1 名推薦してもらう。
- ・研究班から、受益者負担研修会の試薬や物品等購入のため都臨技で専用口座を作って欲しいとの要望があった。

これに対し、会計部から次の回答があった。

「以前から要望があり口座を作る方向で進めていく法人口座を作りその親口座を会計部で持ち、子口座を各研究班、委員会、支部等に配布し、会計部で全口座を管理する。これにより現金仮払いの必要がなくなり業務の効率化と経費削減が図れる。候補として、楽天銀行、ジャパンネット銀行を検討中。」

法人口座を作ることに、承認された

- ・第3回理事会で差し戻しとなった臨床化学検査研究班研修会の共催許可願いが提出された。
- ・免疫血清研究班研修会の共催許可願いが提出された。

(2) データ標準化委員会

- ・平成29年度精度管理調査報告のCD-ROMは最終報告として各施設に送付した。
- ・平成30年度精度管理調査の試料作製（生化学、HbA1c、血算）を10月23日に文京学院大学で実施する。
- ・九州地区精度管理調査試料の譲渡を依頼した。生化学の試料を500円/2本で購入でき安価。
- ・HbA1c、血算の試料採取は日本大学病院倫理委員会へ申請し承認されたため、日本大学病院にて自己採血で対応する。
- ・試料発送は日本通運に依頼するが常温輸送のため、輸送温度が保証できるか事前調査を行う。
- ・平成31年度精度管理調査の新規項目検討のため、今年度の試料でTSH・FT3・FT4の3項目を委員施設にて先行調査を行う。
- ・委員の変更を含む委員会の将来構想について、後任委員の選出を打診する。
- ・精度管理事業・データ標準化事業システム JAMTQC 使用申請を日臨技に行った。

(3) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数（5月）

●公益事業・その他

(No.)	(行事名)	(開催日)	(点数)	(登録者数)
1.	(公益事業) 第16回看護フェスタ	5月12日	基礎20	21名

(No.)	(行事名)	(開始日)	(点数)	(登録者数)
1.	(輸血) 第1回輸血検査研究班研修会	5月9日	基礎20	99名
2.	(病理細胞診) 第1回病理細胞診検査研究班研修会	5月9日	専門20	48名
3.	(免疫血清) 第1回免疫血清検査研究班研修会	5月17日	基礎20	47名
4.	(血液) 第2回血液検査研究班研修会	5月17日	基礎20	155名
5.	(生理) 第1回生理検査研究班研修会	5月17日	基礎20	94名
6.	(微生物) 第2回微生物検査研究班研修会	5月18日	基礎20	131名
7.	(臨床化学) 第1回臨床化学検査研究班研修会	5月23日	専門20	121名
8.	(生理) 第2回生理検査研究班研修会	5月24日	基礎20	85名
9.	(生理) 第3回生理検査研究班研修会	5月26日	基礎20	60名

●学術研究班研修会

- ・5月24日に開催された生涯教育点数について、都臨技HP行事予定表は「専門-20」と表記されていたが、登録は「基礎-20」であった。入稿原稿の記載誤り、校正見落としが原因でありお詫びと訂正文をHPに掲載する。
- ・JAMTISに研修会未登録があった。未来分の未登録を生涯教育制度実行委員会担当理事で事前にチェックするが、行事連絡責任者が主となり確認を行うこと。

(No.)	(行事名)	(開始日)	(点数)	(登録者数)
1.	(西支部) 第1回西支部学術研修会 (生理)	5月8日	基礎20	48名
2.	(南支部) 第1回南支部学術研修会 (一般)	5月22日	基礎20	73名
3.	(北支部) 第1回北支部学術研修会 (血液)	5月22日	基礎20	41名
4.	(東支部) 第1回東支部学術研修会 (公衆・免疫・化学)	5月26日	基礎20	34名

5.	(東南支部)	第1回東・南支部合同学術研修会(微生物)	5月30日	基礎 20	57名
6.	(東支部)	第2回東支部学術研修会(輸血)	5月31日	基礎 20	67名

●支部学術研修会 なし

●自己申告 会場研修

(No.)	(行事名)	(開始日)	(点数)	(登録者数)
1.	微生物英語勉強会	5月8日	基礎 10	3名

生涯教育対象行事登録者数(6月)

●公益事業・その他

(No.)	(行事名)	(開催日)	(点数)	(登録者数)
1.	(公益事業) 第1回学生対象講演会	6月2日	基礎 20	7名
2.	(総会) 東京都臨床検査技師 平成30年度定時総会	6月7日	基礎 30	85名

(No.)	(行事名)	(開始日)	(点数)	(登録者数)
1.	(生理) 第4回生理検査研究班研修会	6月3日	基礎 20	46名
2.	(輸血) 第2回輸血検査研究班研修会	6月13日	基礎 20	126名
3.	(微生物) 第3回微生物検査研究班研修会	6月15日	基礎 20	138名
4.	(臨床化学) 第2回臨床化学検査研究班研修会	6月27日	専門 20	84名
5.	(病理細胞診) 第2回病理細胞診検査研究班研修会	6月27日	専門 20	93名
6.	(公衆衛生) 第1回公衆衛生検査研究班研修会	6月27日	専門 20	29名

●学術研究班研修会

(No.)	(行事名)	(開始日)	(点数)	(登録者数)
1.	(北支部) 第2回北支部学術研修会(一般)	6月5日	基礎 20	18名
2.	(西支部) 第2回西支部学術研修会(輸血)	6月12日	基礎 20	54名
3.	(南支部) 第2回南支部学術研修会(生理)	6月14日	基礎 20	89名
4.	(東支部) 第3回東支部学術研修会(血液)	6月26日	基礎 20	65名
5.	(東南支部) 第2回東・南支部合同学術研修会(病理)	6月27日	基礎 20	29名
6.	(西支部) 第2回西支部学術研修会(公衆・免疫・化学)	6月30日	基礎 20	51名

●支部学術研修会

●自己申告 会場研修

(No.)	(行事名)	(開始日)	(点数)	(登録者数)
1.	微生物英語勉強会	6月12日	基礎 10	2名

(4) 編集委員会

- ・9月号は入稿済みだが、都臨技学会のポスターの修正待ち。
- ・11月11日の「検査と健康展」は臨床検査技師向けの行事ではないため会誌に掲載しないが、ポスター同梱は可能。
- ・編集委員会組織図内の査読委員を1名から2名に変更する。

2) 学会運営部

- ・13日にメーカーからの申込は終了した。抄録広告掲載8社、ランチョン4社、機器試薬セミナー7社8枠、機器展示1社の申し込みがあった。展示メーカーが少ないので締め切り後ではあるが引き続き募集する。学会の特別講演テーマが採血なので採血に関するメーカーに依頼してみる。
- ・一般演題は現時点で2演題の登録がある。目標は50演題、最低30演題

- ・査読と座長を研究班に依頼する。

3) 支部

(1) 支部アンケート

- ・西支部で開催された 3 研究班合同支部研修会のアンケート結果は、合同で基礎 20 点は低いという意見が出されたがおおむね良好だった。
- ・東支部はまだアンケート集計が終わっていないが、開始時間についての意見が出されている。
- ・合同研修会が全て終わり次第、各支部でアンケートを元に来年度の事業計画を立てていく。

(2) 東支部と南支部幹事会の報告がされた

- ・南支部から役員候補者選出委員会委員の欠員分 1 名選出について委員候補者推薦書が提出された。

(3) 支部業務連絡委員会

- ・8月8日に開催予定

(4) 教育施設連絡委員会

- ・7月23日に開催予定

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・7月20日に開催予定

(2) STI 予防委員会

- ・STI 予防教室

7月17日 日大豊山女子高校

7月18日 東京工科大学

7月19日 東京電子専門学校

7月30日 新渡戸文化短期大学

3月2日 青戸中学校

- ・都臨技学会で 2017 年度予防教室アンケート集計結果からの検討を発表する。抄録作成済み。

(3) フォーラム委員会

- ・開催日時：2月26日、会場：武蔵野芸術劇場、講師：下澤達雄先生、東京大学医学部附属病院管理栄養士に決定した。

5) 会計部

(1) 【平成 30 年 6 月 30 日現在】会費収入状況

	平成 30 年度	前年同月実績
正会員会費納入者数	5,968 名	5,664 名
学生会員入金納入者	28 名	16 名
賛助会員会費納入社数	65 社	68 社

(2) 主な事業活動収支状況

[収入]

正会員会費収入	¥1,092,000 (156 名)
学生会員会費収入	¥12,000 (24 名)
賛助会員会費収入	¥120,000 (4 社)
日臨技生涯教育	¥50,000 (臨床化学)

[支出]

臨検啓発

・会員証発行	¥85,213
・会員管理システムプログラム変更	¥315,167

機関誌発行印刷製本費 ￥462,225 (支部研修会テキスト、会誌6月号)

管理費

- ・ 定時総会行動費 ￥53,000
- ・ 定時総会交通費 ￥30,020
- ・ 佐々木会計事務所顧問料 ￥210,000

(3) 審議事項

- ・ 各研究班、委員会、支部等に法人口座を設け、仮払いなどはすべて会計部で入金して管理する。

6) 庶務部

会員数【平成30年6月29日現在】

	平成30年度
会員数	6,123名
都臨技会費免除会員	53名
賛助会員	65社

(1) 庶務部報告

- ・ 3月28日に事業計画等の報告書を東京都へ提出し、5月8日に修正指示対応、5月31日に完了。
- ・ 事業報告等の報告は6月29日に提出し、審議中

(2) 選挙管理委員会

- ・ 代議員選挙規定等の改定について、代議員選挙規定の改定部分は次回委員会にて審議する。

(3) 役員候補者選出委員会

- ・ 役員選出規定及び役員候補者選出委員会規定の改定について、両者の違いを明確にし、今期中に作成し協議する。
- ・ 欠員であった南支部の委員候補者推薦書が南支部から提出された。

7) 事務局

- ・ 6月の事務業務内容の報告がなされた
- ・ 前回掲載内容不足であった首都圏ラボラトリーフォーラム資料を確認した。
- ・ 超音波スクリーニングネットワークの後援及び名義使用許可願いが提出された。都臨技HP掲載と案内の会誌同梱を許可。
- ・ 日臨技から「自然災害による被災会員に対する共済金等の支給申請手続き等について」通知があった。都臨技HPに掲載する。
- ・ 日臨技定時総会成立のお礼と都道府県別総会出席率が提示された。都臨技の出席率は書面評決表を含め36.31%で全国最下位。今後の課題として出席率を上昇させるための策が必要。
- ・ 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い。東京都は58.2%が修了。
- ・ 日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第55回)から一般演題の募集延長について依頼があった。7月17日時点で96演題が登録された。

次年度開催担当として各日10名、2日間で20名の理事が参加する。

8) 委員会等報告

表彰選考委員会

- ・ 緒方富雄賞の推薦については今年度は見送りとなった。各賞の推薦について學術部に選出を依頼し早めに対応することとする。
- ・ 永年会員及び永年幹事表彰について、今年度は58名の対象者があり、表彰状と記念品を贈る。対象者名簿を作成し都臨技学会時に配布および会誌に掲載する予定であり、個人情報掲載の可否を問う内容を表彰対象者に出す案内状に盛り込む。
- ・ 記念品については予算内で検討する。

9) 日臨技報告

特になし

10) その他

- (1) 検査と健康展について

- ・企画書を日臨技に申請した。
 - ・7月31日に会場視察および担当者会議を行う。担当者は地域保健共催事業部、学術部、学校関連を中心とする。
 - ・企画提案、要望があれば杉岡理事に提出。
- (2) 多職種連携のための研修会について
- ・日臨技に企画書、予算書を提出した。予算書の人件費に誤記載があり修正する。講師料、行動費は日臨技の規定。
 - ・当日実務委員の募集をする。
- (3) 業務執行報告書について
- 今年度の総会以降、常務執行理事の役務が変更になっている。現時点の役務に関して記載しなければいけないので、総会以前の業務は当時の執行理事ではなく現職理事が報告を書いている。次期からは業務執行報告書の報告期間を4月1日から総会までと、総会以降の業務に分けて報告することにする。
- (4) 書類の日時表記について
- 今後、年号が変更になるので、都臨技の書類は西暦表記に統一して行きたい。官公庁の表記は年号の可能性があるので東京都に確認する。
- (5) 理事研修会
- 9月2日に都臨技事務所で理事研修会を行う。

4. 審議事項

- (1) 6月20日から7月17日までの新入会者58名が承認された。
- (2) 学生会員8名が承認された。
- (3) 南支部からの役員候補者選出委員会委員候補者について承認された。
- (4) 会計部から提案された、法人口座を開設する件について承認された。
- (5) 臨床化学検査研究班研修会の積水メディカル株式会社の共催について承認された。
- (6) 免疫血清検査研究班研修会のシーメンス・ヘルスケアダイアグノスティクス株式会社の共催について承認された。
- (7) 超音波スクリーニングネットワークの後援及び名義使用について承認された。
- (8) 多職種連携のための研修会について企画内容が承認された。

平成30年7月18日(水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会

議事録作成 竹澤 理子

議長

(原田)

原田典明



監事

(立花)

立花勇一



監事

(安部)

安部信行



監事
(遠藤)

遠藤盛人 